
コナンが新一に戻る時

イミユレ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

コナンが新一に戻るとき

【Nコード】

N4548Y

【作者名】

イミユレ

【あらすじ】

5年生になり、コナンも板についた新一。

しかし、新一のクラスになぞの転校生が・・・

プロローグ（前書き）

2 作目投稿です。今度は長編にしてみました。

ブローグ

俺、工藤新一が江戸川コナンになってから約4年が経ち
もう江戸川コナンが板についたころだった。

5年生1学期

「皆さん、おはようございます。これから5・2の担任になります、
小林澄子こばやしすみこです。」

俺のクラスの担任は、1年生のときと一緒に小林先生だった。
しかも、クラスのメンツも1年生のときとあまり変わらなかった。
しかし、ひとつだけ大きな違いがあった。

「それでは、転校生を紹介しましょう。」
そう、それは転校生がいることだ。

「初めまして。私の名前は家厨麻貴いすけあきです。どうぞ、よろしくおねがいします。」
その名前を聞いたとき、ふと隣のせきの灰原を見ると顔が青ざめていた。

プロローグ（後書き）

家厨麻貴は私が考えたオリキャラです。

第1回よんでくれてありがとうございます！

なその転校生（前書き）

第2部の始まりです・・・

なぞの転校生

「初めまして。私の名前は家厨^{いえすまき}麻貴です。どうぞ、よろしくおねがいします。」

その名前を聞いたとき、ふと隣のせきの灰原を見ると顔が青ざめていた。

「はじめまして、江戸川コナン君。よろしく。」

「あ、ああ・・・。」

転校生の席は俺の通路を挟んだ隣だった。

彼女は、笑顔で挨拶してくれたが、なぜか恐怖を感じた。

まあ、灰原になぜ、青ざめていたのか聞くことにした。

「（なぜ、青ざめていたんだ？）」

「（別に、特に理由はないわ。ただ恐怖を感じただけ。）」

「（だよな・・・。）」

灰原と小声で会話をしていると急に転校生の声がした。

「灰原さんもよろしくね。」

「ええ、よろしく。」

灰原は軽く流すような返事をしているとチャイムが鳴った。

この1日が俺の運命を変えるための幕開けとなった。

なぞの転校生（後書き）

プロローグ2みたいになってしまっているのですがすみません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4548y/>

コナンが新一に戻るとき

2011年11月17日19時07分発行